

# 五十五万石

近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3

TEL.426-3600 FAX.424-1474

<http://www2.kinzei.or.jp/~wakayama/>



## 川湯温泉 仙人風呂

紀州の冬の風物詩「仙人風呂」。毎年11月から翌年2月にかけて、熊野川の支流大塔川をせき止めた長さ50m幅15mの広大な露天風呂が出現する。期間中は午前6時30分から午後10時まで利用可能だが、川原に湯船が掘られているだけなので入浴できるかできないかはお天気任せ。平成20年1月20日には第7回新春かるた大会が、2月の土曜日には湯けむり灯籠が予定されている。詳しくは熊野本宮観光協会まで

## 目次

|                     |   |                   |   |
|---------------------|---|-------------------|---|
| 新年のご挨拶 .....        | 2 | 昭和35年2月4日生まれ..... | 4 |
| 新年のごあいさつ.....       | 2 | 今年の目標 .....       | 4 |
| 年男・年女のメッセージ         |   | 支部行事風景.....       | 5 |
| 年男の雑感 .....         | 3 | 新入会員等紹介 .....     | 6 |
| 感動した「夜回り先生」の講演..... | 3 |                   |   |

## 新年のご挨拶



和歌山支部長 稲田 稔彦

新年あけましておめでとうございます。

平成20年の年頭に当たり、支部会員の諸先生に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

先生方には日頃会務運営に深いご理解とご協力賜り有難く厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、昨年も色々なことが起こりました。年金問題、サブプライムローンに起因する金融不安、原油の高騰と問題は次々に起こります。

さらに、地震・台風という自然災害にも常に脅かされ、何時来るか判らない東海・東南海・南海地震にも備えねばなりません。

我が業界を見ますと、今推奨されております国税電子申告・電子納税（e-Tax）は大いに改善され、本年からは、本人申告であれば税額控除もあり、添付書類の送付も一部不要となりました。代理送信であれば署名もいりませんので、確定申告に効率的に利用が出来るのではないのでしょうか。

義務研修の平成18年度の受講記録提出率及び受講目標達成率では、当和歌山支部は200人を超す多人数の支部中では最も成績の好い支部です。皆様方のご努力のおかげと考えております。

ところで、本会では、支部交付金について検討を行っています。支部会費が6千円から3万6千円の支部まで多岐に分かれ不公平感があり、これをある一定の水準になるように支部交付金の変更が企てられています。和歌山支部は、幸運にも和歌山税理士協同組合のおかげで支部会費を安く押さえることが出来ましたが、規約変更後は支部交付金が減額されます。

先の総会で事務局の負担が過大だとの質問を受け、支部役員の先生方に、出来るだけ事務局の負担軽減をお願いしておりますが、これにも問題があります。

来年は、どうしても支部会費の増額をお願いせねばならないのではと危惧しています。

最後になりましたが、支部会員先生方のご健勝とご事業のご繁栄を祈念致しまして新年の挨拶と致します。

## 新年のごあいさつ



和歌山税務署長 辻 中 孝

新年明けましておめでとうございます。

平成20年の年頭に当たり、近畿税理士会和歌山支部の諸先生方に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

和歌山税務署へ着任して早や半年が過ぎましたが、この間、様々な機会を通じて支部活動を目の当たりにし、また、お話を伺えば伺うほど、諸先生方のご理解とご支援が署務運営に大きく寄与していることを感じました。紙面をお借りして心から厚くお礼申し上げます。

ところで、昨年を振り返りますと、関西では、関西空港の第二滑走路の完成や阪和自動車道の「みなべ」・「南紀田辺」間開通など明るいニュースも聞かれましたが、経済全体では、原油価格の高騰による生産・流通コストの上昇により大手企業が相次いで価格への転嫁に踏み切る一方で、価格転嫁の困難な中小企業の多くにおいては収益を圧迫するなど、企業活動や国民生活への影響が懸念されるどころです。

また、私ども税務行政を取り巻く環境は、IT化、経済のグローバル化の著しい進展、少子・高齢化などにより急速に変化しており、他方、行財政改革の流れの中で、国家公務員の定員の純減が進められるなど、ますます厳しいものになりつつあります。

このような環境変化の中、国税庁におきましては、平成18年3月に策定・公表した「国税関係業務の業務・システムの最適化計画」に基づき、納税者利便の向上と事務の簡素・効率化に向けた各種施策を推進しているところであります。

中でも、国税電子申告・納税システム（e-Tax）につきましては、利用者利便性の向上などの観点から、各種の機能・運用の改善が進められてきたところであり、引き続き、近畿税理士会和歌山支部をはじめ関係民間団体との連携を図りながら、e-Taxの普及拡大に向け積極的な取組を推進していきたいと考えておりますので、より一層のご協力を

お願いいたします。

さて、間もなくしますと、いよいよ私ども税務行政に携わる者にとって大変重要であります「確定申告」の時期を迎えることとなります。平成19年分確定申告期は、e-Taxの普及拡大を踏まえた申告相談体制により、従来以上に自書申告の定着を図るとともに、納税者サービスの更なる向上を図るよう、全職員が一丸となってこれに取り組んでいきたいと考えております。

近畿税理士会和歌山支部の諸先生方におかれましては、税の専門家として、また税務行政の良き理解者として、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに臨み、近畿税理士会和歌山支部のますますのご発展と、会員の先生方はもとよりご家族皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。



## 年男・年女のメッセージ



### 年男の雑感

山中 静

私は大正13年生まれ、甲子園の生まれた年です。年男では最年長でないかと思えます。昭和27年には公認会計士、税理士を開業してより、昨年は55年目になりました。当時の税理士は県下でも十数名であった様に思えます。南方、北坂、花田、和田、清水諸先生等懐かしく思いだします。私は勿論一番若輩で20年も年が違いました。以後ご厚誼を頂きましたが、特に酒席では、鍛えられました。同期の故神下庄三君に酒だけでは駄目だと教えられ「三ご」をぼちぼち始めました。ゴルフは紀ノ川ゴルフで我流で始めました。同窓生のゴルフ会の名前を南風会と名付け夏冬を除く年間八回以上毎月プレーをしました。昨年270回となりましたが、私の他は1、2名ですので今年で解散となります。小唄は大阪在任中は師匠に付いて習い始め、和歌山転居後も暫く続け約2年となり、発表会に1度だけ出演、昔は宴会で唄う程度で、現在は忘れ掛かっています。最後の碁ですが関西棋院の亀山八段に毎月習い、二段を頂きましたが、最近は年に数回打つ程度となりました。

現在でも続けている趣味は旅行とカラオケです。中国旅行は20回となり、18年4月には黄山に登り、紀行記事は近畿税理士会の18年10月号に掲載されました。また、同年10月完成早々の、5km高原を走る、青蔵鉄道に乗ってチベットを訪問しました。

車窓から眺める無人の雪山、溪谷、湖岸等の雄大なパノラマ風景、遠くに散在するヤク等の高山動物に感嘆し、ポカラ宮殿初めチベット仏教の数々や、チベット族の昔変わらぬ風習等眼を見張る思いでした。

今後も新しい体験を目指して残り少ない人生を充実させたいと念願して居ります。



### 感動した「夜回り先生」の講演

大住 文夫

昨年、「夜回り先生」と言われる水谷修先生の講演を聴く機会がありました。この方は、定時制高校の教師をしていた16年前から、中・高校生の非行防止と更生、薬物汚染の拡大防止のために、全国各地の講演先にある繁華街等で、「夜回り」を続け、夜の街で子供と向かい合い、深夜から明け方までパトロールを行っている先生です。

3年ほど前からは、「夜眠れない子供たち」からのメールや電話による相談に答え、子供たちの不登校やこころの病、いじめや自殺などの問題にかかわっていて、メールの数は約30万件、延べ14万人の子供たちから相談を受け、返事を送り続けているそうです。

お話の中で、「いま子供たちは愛に飢えている」「優しい言葉が大切なんだよ」大人は厳しい経済社会の中でほとんどが共働き、お父さんは会社で疲れ、お母さんはパートと育児で疲れ、忙しい毎日でストレスがたまっていて「こんなこともできないのか」「そんなことでどう

する」「勉強しないと偉くなれないぞ」家庭や学校でそんな心ない言葉が満ちあふれている。

大人の厳しい言葉や過剰な期待が今、こころ優しい子供たちをどンドン闇に追い込んでいる。「せめて一言だけでいい、身近にいる子供たちに愛のあるやさしい言葉をかけてあげてほしい。そしてほめてあげてほしい。」

そんな言葉に感動し、私も含め約千人の聴衆が涙しました。

水谷先生は51才ですが、ご自分で言っておりました。「僕は年齢より老けて見えますが、それは皆さんより起きている時間が多いからです。子供たちのことを思うと眠っ

てられません。」と、そして、なんと8年前に余命数ヶ月と、がん宣告されたとき「残された時間の中で、一人でも多くの子供たちを笑顔にして、昼の世界にもどすことに徹しよう」と決意し、この8年で2000本を超える講演を日本各地でおこなってきたそうです。

そんな超人的な方の講演会を拝聴し、今年還暦を迎えた私は「いままで自分の欲得ばかりの人生だったのでは?」と反省させられました。今回の感動を少しでもこころに長くとめ、機会があればこの話を出来るだけ大勢の方々に知っていただこうと思いました。

## 昭和35年2月4日生まれ 中北茂寛

昭和35年2月4日、子年生まれ。あまり占いとかは信じない自分ではあるが、困った時の神頼みと同じで、雑誌等に占いコーナーがあったりすると結構真剣に読んでいたりする。意外とそこに書かれていることに気をとられて信じ込んでいたり、暗示に掛かっているのかもしれない?自分がいたりする。

十二支での運勢を見るときには当然子年の欄を読んでいた。

しかし、最近になってひよんなことから、大変なことに気づいた。

## 今年目標 中筋敦子

感謝する。これは数年前、インドに旅行して以来、意識して思うことです。

車で観光地をまわって行くのですが、何処に行っても車を止めると、とにかく子供が窓に群がってくるのです。車内を覗き込んで何かを指さして欲しいとジェスチャーする彼らはたいい汚れて破れた服を着て裸足です。

日本では、見知らぬ子供からこんな風に当り前のように何か欲しいとせがまれることもなく、あげる行為にも抵抗があったのですが、鞆に入っていたチョコレートを出しました。出した瞬間に皆が皆、奪い取ると言った感じで手を出し、掴めた子供は何か見もせずすぐに口にいられていました。見るからに外国人、そんなよそ者が差し出す物を何の疑いもなく口にに入れる。私なら、まずきれいな?毒なんか入ってないかな?って躊躇します。多分、捨ててしまうでしょう。でも、彼らにはそれがないんです。私はこの違いに切なくなり、漠然と考えさせられました。勿論、こんな子供達ばかりではないけれど、こんな子供達がいるのも事実です。

家を新築するにあたり、家族の生年月日と名前を書いて、とある方の所で新築時期やら入居時期やら間取りやらを相談したら、昭和35年は節分が2月5日だったので、「あなたは『亥年』になりますね」って????。

ちょっと待ってくれよ~!って感じだ。

しかし、ネットで十二支別性格判断なんてのを見ると、やはり自分はどちらかと言えば子年の性格に思える。とすると、新築した家は大丈夫か~?なんて心配が生まれてきたり。

結局、48歳になっても相変わらずの迷える自分がいたりするわけで。

しかし、新年を迎え、迷える男なりに一步一步地に足が付き、しっかりと根を張れるように頑張っていこうと思っています。

戦争も経験していない私は、両親から色んなものを与えられて育ち、食べるに困らない、カーストという制度もなく職業も自由に選べる。こうやって自由にインドに旅行に来れている。もしかして日本に生まれたことだけにでも感謝しないとイケないのかもしれない。あれからは折りにふれ感謝することにしています。食べられること、健康なこと、etc……。今年も感謝することを忘れないようにしようと思います。最後に、(観光)とは光を観ると書きます。どうか皆様も旅行に行かれたら是非すばらしい(光)を探して観てください。

子年生まれの方は25名です。  
年代順は

|        | 男性  | 女性 | 計   |
|--------|-----|----|-----|
| 大正13年生 | 4名  | —  | 4名  |
| 昭和11年生 | 3名  | —  | 3名  |
| 昭和23年生 | 7名  | —  | 7名  |
| 昭和35年生 | 5名  | 2名 | 7名  |
| 昭和47年生 | 2名  | 2名 | 4名  |
| 計      | 21名 | 4名 | 25名 |

# 支部行事風景



平成19年8月2日 支部ビデオ研修



平成19年10月9日 支部研修会



平成19年10月19日 支部旅行



平成19年11月9日 租税教室



平成19年11月14日 納税表彰式



平成19年12月5日 年末調整説明会



平成19年12月12日 支部研修会



平成19年12月12日 年末懇親会

新入会員等紹介 (敬称略)

入会



サカグチ カズヤ  
坂口 和也  
平成19年8月23日  
和歌山市和歌町26番地  
坂口亀次税理士事務所



ニキ ヤスオ  
仁木 靖夫  
平成19年8月23日  
和歌山市西長町  
4丁目12番地

税理士法人中村・小仲会計事務所  
平成19年10月22日  
和歌山市西高松1丁目3番21号

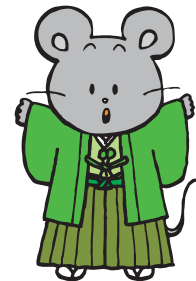
退会

井上 嘉久 (業務廃止)  
平成19年9月27日

転出

井上 雅貴 (海南支部へ)  
平成19年9月6日

崎山 俊郎 (湯浅支部へ)  
平成19年10月26日



会 員 数

平成19年12月20日現在 243名(社)

編 集 後 記

今回も多くの方々にご協力をいただいたおかげで、五十五万石第25号を無事に発行することができました。心より感謝申し上げます。

さて、今月からいよいよ小学校の租税教室が本格的に始まります。寒い教室の中、目を輝かせながら元気いっぱいに出して手を上げてくれる子供たちを見ると、将来の日本の社会生活の不安もかき消される様な気持ちになります。我々大人も、子供たちに負けないように目を輝かせながら毎日を過ごしたいものです。彼らが大人になる頃には、電子申告は、もはや当たり前になっていることでしょう。いいえ、その頃にはさらに進化した新しい申告システムが誕生しているかもしれません。私達は、申告制度の担い手として、こうした進化とともに歩

み続けていきたいものです。

今回の冬は、インフルエンザの流行が早くから起こり、市内の小学校も学級閉鎖が続出しました。これからは、我々税理士としての本領を発揮する時です。皆様方も健康管理には十分注意をしていただき、多忙な時期を元気にお過ごしくださいますようお願い申し上げます。

今年干支の始まりの年、幸先の良い一年となりますようお祈り申し上げます。

広報委員 石川、岡野、水城

